

ANNUAL REPORT

一般社団法人まちにわ ひばりが丘

2018年度

活動報告書



やわらかな秋の陽射し
色を変えはじめたケヤキの影も
少し長くなった

屋台の連なりが作るマルシェのにぎわい
日向で子どもたちがかけ回る
木陰で仲間と食べて、話して

あたたかな言葉と
やさしいまなざしが満ちていく

思い思いの過ごし方をしながら
街に「和」が描かれていく

何十年もケヤキが見守ってきたこの場所に
心地よいつながりが育っていく



はじめに

いまあるこの街の魅力を活かしながら、さらに魅力的な街にしていきたい。

そんな思いを実現すべく誕生した一般社団法人まちにわ ひばりが丘も
活動をはじめて4年が経ちました。

私たちの活動拠点「ひばりテラス118」では、子育て世代からシニア世代の方まで
多くの方に参加していただけるよう、多彩なイベントを開催。

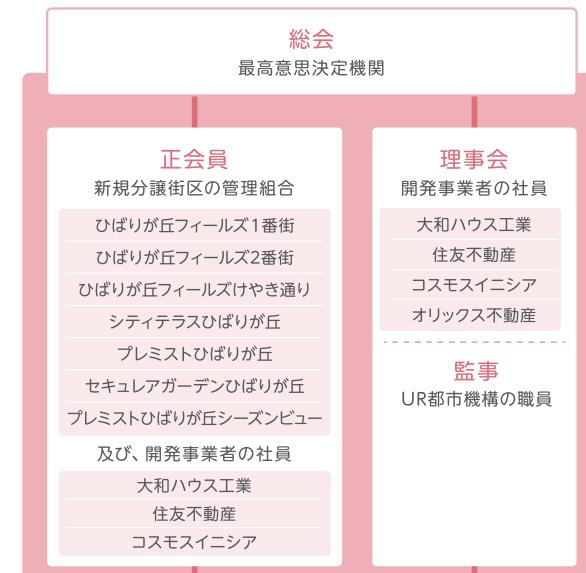
また、地域防災イベント「るるるバザール」の開催や、
子どもの居場所づくりとして「ひばりテラス118の夏休みランチタイム開放」など
地域の共通課題に対する取り組みも行いました。

そんな、街に様々な輪がかった2018年度の活動をまとめた
「一般社団法人まちにわ ひばりが丘 2018年度 活動報告書」をお届けいたします。



一般社団法人 まちにわ ひばりが丘

一般社団法人である「まちにわ ひばりが丘」は、正会員(新規分譲街区の管理組合及び開発事業者)によって構成される議決機関である「総会」と、「理事会」(開発事業者及びUR都市機構)、そして実務全般を行う「事務局」(HITOTOWA INC.と住民スタッフ)によって構成されています。なお、理事・監事及び事務局については、2020年度から地域住民を主体とした新たな体制に移行すべく、準備を進めています。



コミュニティ担当理事になる

まちにわ ひばりが丘の一員として、
よりよいひばりが丘をつくっていく

アイディアを提案する

「こんなことができる」
「こんなことやったら面白い」
というアイデアを提案する

イベントキャストになる

事前準備だけ、当日だけ、
楽しみながらサポートする

「街に和」の描き方は



運営のボランティアになる

イベントのスケジュールやまちにわの
プロジェクトの管理などで
まちづくりに関わる

アルバイトする

「ひばりテラス118」などで
アルバイト

特技を活かす

得意の才能を発揮して、看板作りや
チラシ作りなどに参加する

記者・撮影ボランティア

季刊紙やWEBサイトで記事を書く、
写真を撮影する

イベントを企画

イベントやワークショップを
企画する

Our vision

普段は楽しく、いざという時に助け合える
これが、「まちにわ ひばりが丘」が目指すビジョン(街の姿)です。

小さなお子さんのいるご家庭や、ご年配の方の中には、
遠くまで出かけるのは大変…と感じている方も多いはず。
すぐに歩いていける距離に友人が増えると、何気ない日常に笑顔が飛び交う「普段は楽しく」暮らせる街。
悩んだとき身近に相談できる人がいて、また周囲からも見守る目があること。
そんな人ととのつながりがあることで、災害、犯罪、孤独な子育て、人の無縁化など
多くの社会問題にアプローチできる。
そして、建物管理でも、建物内に良好な人間関係が築けていれば、より建設的で活発な議論がしやすくなり、
スムーズな合意形成につながり「いざという時に助け合える」ような街。
そんなつながりが生まれる街が「まちにわ ひばりが丘」の目指す街の姿です。

Our Mission

ビジョンを達成するための
「まちにわ ひばりが丘」の使命は以下の3つです。

1. 子どもからご年配の方まで、安心していきいきと愛着を持って
住み続けられる街にしていくこと。

2. 住民のコミュニティ形成と地域の活性化を推進し、
協働で地域の課題解決に取り組む街にしていくこと。

3. 「防災・防犯」「緑豊かな環境との共生」「歴史・文化」などについて学びながら、
新たなライフスタイルを楽しめる街にしていくこと。

Our Action

ミッションを達成するための「まちにわ ひばりが丘」が
取り組んでいる具体的な活動は以下の3つです。



1. 地域住民の活動拠点の運営

「自由に使える打ち合わせスペースがあつたらいいな」「ふらっと
行ったら誰かに会える場所があつたらいいな」…そんな場所を目指して、貸し部屋、ハンドメイド品販売コーナー、カーシェア、共同菜園、カフェ、花屋などがある多目的エリアマネジメントセンターとして「ひばりテラス118」を常駐スタッフが運営しています。

2. 街の情報発信～季刊紙・Webサイト、メールマガジンの発行～

「街のイベントの予定がわかるメディアがあつたらいいな」「街で
活動している人たちの声が聞けたらいいな」…そんな情報発信を
していくために、季刊紙「AERU」の発行や、「まちにわ ひばりが丘」
のホームページやfacebook、そしてエリアマネジメントツアードを行っています。

3. イベント企画・運営

「お祭り大好き！ 子どもにも楽しさを伝えたい」「知らないことが
体験できるイベントは楽しそう！」…そんなイベントやワーク
ショップの企画・運営、住民発のイベントのサポート、さらには
近隣地域・組織で開催されているイベントと連携するなど様々な
イベントの企画・運営を行っています。

2015年の活動開始から4年目。新規分譲住宅の開発も終了し、中学校予定地（中原小仮校舎）も完成して街全体の開発は一区切りに。
住民同士のつながりもさらに広がりをみせ…と、それぞれの分野で様々な変化・進化があった1年となりました。この1年を6つのトピックで振り返ります。

Topic 1. 街の人と接点が増えたひばりテラス118

これまであった、お部屋貸しやカフェといった機能に加えて、生花店オープンやハンドメイド雑貨販売、習い事教室の増加、共同菜園サークルの立ち上げなど、新しい接点が増えた1年となりました。

1 コミュニティスペース HINATA

大小6つのお部屋を用途や人数に合わせてご利用いただけるコミュニティスペースHINATA。2018年度は特に平日夕方からの習い事教室の開催が増え、子どもたちにも馴染みの場所になりつつあるように感じています。一方で、「食事の持ち込みも可能」の利用方法の認知が広がり、お友達との集まりや、季節行事にあわせたパーティーでの利用も増えました。



2 ひばりテラス118の小さな花屋 風葉花 (ふうようか)

2018年4月にオープン！階段前のお部屋を大胆にリフォームし、外からも直接入れるようにウッドデッキもつらえた花屋さんです。ちょっと変わった切り花や珍しい鉢や苗、ドライフラワーのハンドメイドなどナチュラルティストの植物を取り揃えています。季節を感じる花レッスンや全国へのお花の発送も行っており、母の日シーズンは他の部屋まで花の香が漂うほど、多くの方で賑わいました。（店長 竹下さん談）



3 オリックスカーシェア

2015年12月から稼働したオリックスカーシェア。利用登録者の増加に伴い、ひばりが丘団地エリアにカーステーション「ひばりが丘団地8番(UR)」が新たにできました。ご利用の際はステーション名をお間違いなく。



HIBARI TERRACE 118



4 手しごとのお店 HACO NIWA

2017年10月にグランドオープンしたハンドメイド雑貨を販売するHACO NIWA。キャンセル待ちの作家さんも多数いらっしゃることから、2018年12月に9箱増設し、合計で33人の作家さんがレンタルボックスオーナーとして、雑貨を販売しています。定期的な交流会やまちにわイベントへの出店を通じて、作家さん同士のつながりの和が広がっています。



5 カフェ COMMA,COFFEE

カステラパンケーキに加え、季節の果物をふんだんにつかったパフェも人気メニューの一つになりました。そのおかげで、地元のフルーツ農家さんを訪問する機会が増え、より地域を意識するようになりました。また、クリスマスケーキの予約販売にもチャレンジし、多くの方にお届けすることができました。今後も地域に根ざしたカフェになるよう頑張っていきたいです。(店長 最相さん談)



6 まちにわ共同菜園 まちにわガーデン

ひばりテラス118の一角にある共同菜園が、サークルによる管理運営にリニューアルしました。その名も「まちにわガーデン」。この菜園のこだわりは、区画すべてを参加者全員で手入れ収穫する「共同管理」と、土や肥料を自分たちでイチから準備する「有機栽培」です。2018年度は7世帯で楽しく畑作業や肥料づくりを行いました。



6 まちにわガーデン

7 GALLERY NIWA

2017年度に引き続き、自由学園最高学部の学生による卒業制作の展示をご利用いただきました。普段とは違う部屋の使い方、家具の配置に、まちにわ事務局も新鮮な思いと刺激をもらった展示となりました。



2018年度 メディア 掲載情報

Topic 2. エリア内外への情報発信

ひばりが丘エリアのコミュニティメディア「AERU」やホームページ、メールマガジンなどでの情報発信に加えて、視察や講演依頼なども数多く対応し、活動紹介・情報発信を多方面で展開することができました。

1 AERU(アエル)の発行

2018年度は、合計で3回発行しました。ひばりテラス118での結婚パーティーの様子の紹介や中原小建替に伴う住民座談会、にわジャム2018での住民企画のリーダーインタビューなど、多くの近隣の方にご登場いただきました。



2 エリアマネジメントツアーでの地域紹介

視察対応のためにはじめたエリアマネジメントツアー。2018年度は、北は北海道、南は九州まで全国各地から、総勢67名の方にご参加いただきました。下半期からはまちにわ師が案内人をつとめ、「自分たちの街の魅力を自分たちで紹介する」ツアーへと進化しています。



3 他地域でのまちづくりのサポートに

横浜市都筑区での「第2期 つづき つながりカレッジ」の入学式にて、まちにわ師の岩穴口康次さんがまちにわひばりが丘の取り組みをプレゼンし、その後のワークショップで参加者のみなさんとまちづくりについてディスカッションしました。また、調布市の多摩川住宅のまちづくりを考える「チームTAMAGAWA」の皆さんから、まちづくりに実際に関わる立場としてアドバイスする仕事をご依頼いただくなど、エリア外での仕事をすこしづつ増えてきています。



新聞	掲載日	媒体名	出版社	タイトル
	2018年10月31日	不動産経済通信	不動産経済研究所	ひばりが丘団地 団地再生事業が完了
	2018年11月12日	住宅新報	住宅新報	エリア一体でマネジメント展開
	2018年12月 1日	マンションタイムズ	不動産経済研究所	公民連携による団地再生事業の成果を生かし まち育てをするエリアマネジメント
	2019年 1月 1日	週刊住宅	週刊住宅タイムズ	持続可能な"まちづくり"
Web	掲載日	媒体名		タイトル
	2018年 5月31日	リンジン	コラム ひばりが丘に参加する	
	2018年10月26日	北多摩経済新聞	ひばりが丘団地で住民つなぐイベント「にわジャム」100人で「いただきます」も	
	2018年10月28日	タウン通信①	団地のつながりイベントで「NIWA JAM2018」	
	2018年11月17日	タウン通信②	日本初、官民共同による町づくり ひばりが丘団地が描く地域社会の新しいあり方	
	2018年11月29日	R.E.port	ひばりが丘団地のエリマネ、20年に住民主導に	
その他		東京都都市整備局 団地活性化事例集—戸建住宅と集合住宅の活性化—「団地活性化・再生の取組の担い手育成」		

Topic 3. 地域課題への対応

街に和を描く重要性の一つとして掲げている、「地域の課題解決」。まちにわの認知の広がりとあわせてご相談いただく機会も増えた1年でした。特に「防災」と「子どもの見守り」での取り組みを紹介します。

地域防災イベント

1 「るるるバザール」開催(2018年5月)



「地域とつながる」「仲間が増える」「もしもに備える」をコンセプトの防災フェスティバル。大和ハウス工業の協力のもと、マンション管理組合、ひばりが丘団地自治会、社会福祉協議会、消防署や行政、地縁団体の皆さんと共同で開催。地域で活動する組織の横のつながりの大切さを再認識する機会になりました。

3 夏休みの子どもたち向けに
ひばりテラス118を開放(2018年7・8月)



マンションにお住まいのお母さんからの「夏休み中にお昼ご飯をお部屋でたべさせてもらえないか?」というご相談から実現した企画。一部の児童館では、お昼休みがあり、一時的に退館しなければならないということで、お昼休みとその前後の時間帯でお部屋を開放しました。2019年度以降も継続して実施していきます。

防災啓発ドキュメンタリー映画

2 「いつか君の花明かりには」上映会(2019年1月)



岩手県、熊本県、広島県、徳島県で防災に取り組む方々の声をあつめたドキュメンタリー映画です。ひばりが丘団地自治会およびにしにnet.の皆さんとの共催として、ひばりが丘パークヒルズ南集会所で開催しました。当日は、エリア内外から総勢100名近くの方にご参加いただきました。

Topic 4. 地域行事への参加

1959年から入居開始したひばりが丘団地。この土地の歴史と伝統を紡ぎ、新しい住民のみなさんと地域をつないでいくことも私達の大切な役割の一つです。

前年度に引き続き、ひばりが丘団地自治会主催の桜まつり、夏まつりに出店し、新しい露店にもチャレンジしました。お祭りへの出店を通じて、新規分譲街区の住民同士の横のつながりも広がり、住民LINEグループ「まちにわ組」の結成にもつながっています。





Topic 5. まちに根付き始めた企画

活動も4年目となり、「また来ました!」「毎年たのしみにしている!」というお声を数多くいただけるようになってきました。そんな中で、特に反響をおいただいている3つの企画を報告します。

1 子育てサロン「まちにわリビング」 (合計11回開催)

月一回、小さなお子さんと親が集まり、子どものいる毎日が楽しいと思える生活の基本をお伝えしています。今ではまちにわ ひばりが丘を代表する企画となりました。親も子も仲良くなつて生活エリアを広げるきっかけにもなっています。夏には“はじめての水あそび”、“落合川での川遊び”、12月はミニコンサートを楽しみました。

(まちにわ師 岩穴口亜紀 西田淳子 談)



2 地域合同での新春餅つき大会 (2019年1月開催)

2017年1月にひばりテラス118で初開催した餅つき大会も、3回目となり、ひばりが丘団地自治会のみなさんとの共催での開催となりました。会場もひばりが丘パークヒルズ北集合所前の広場となり、合計で30キロものお餅をつきあげました。「お餅つきを見るのは数十年ぶり」と笑顔で語る御婦人の姿が印象的でした。



1 スピンオフ企画 にわマルシェ (合計5回開催)

にわジャムの一企画としてはじまったマルシェ。多数の反響もあり、2018年度からは定期開催に移行しました。手しごとのお店HACO NIWAのハンドメイド作家のみなさんのご協力のもと、ハンドメイド雑貨と野菜と食べ物を楽しめるマルシェとして合計5回開催しました。設営撤収では住民の方も大活躍。公園の新しい使い方の事例としても取り上げられています。



3 ひばりテラス118オープン記念イベント「にわジャム」 (2018年10月開催)

3回目となる今回は晴天に恵まれ、10月末の2日間大いに賑わいました。前年度に雨のため中止になってしまったハロウィンスタンプラリーも晴れてお披露目に。新規分譲マンション管理組合のみなさん中心に企画運営され、ひばりが丘団地エリア内を仮装した親子が歩き回り、イベント会場の外でも笑顔が溢れるイベントとなりました。



4 年末おそば会 (2018年12月開催)

コミュニティカフェ遊に会場を移して2回目となる今回。団地にお住まいの方を中心リピーターの方がたくさんいらっしゃったのが印象的でした。運営は、マンション住民・団地住民・まちにわスタッフの合同チーム。息の合った連携作業で100杯を約1時間で完売となりました。書道の先生に書いてもらった「年越しそば」の垂れ幕も会場を盛り上げました。



Topic 6. 新しくチャレンジした取り組み

まちに根付き始めたイベントがある一方で、新しいチャレンジも続けています。より多くの方と接点をもてるよう、地域の方にご協力いただきます。ながら、新しい取り組みを行うことができました。

2 植栽管理を勉強しながら、交流する マイハーベストガーデンプロジェクト (2018年4月から)

ひばりテラス118の南側に広がる戸建街区「セキュレアガーデンひばりが丘」。このエリアの西側の植栽帯の手入れや植樹などを通じてコミュニティづくりを行う「マイハーベストガーデンプロジェクト」がスタートしました。2020年3月までの2年間、様々な企画を通じて、植栽帯の自主管理に向けたスキルアップと横のつながりづくりを行っています。



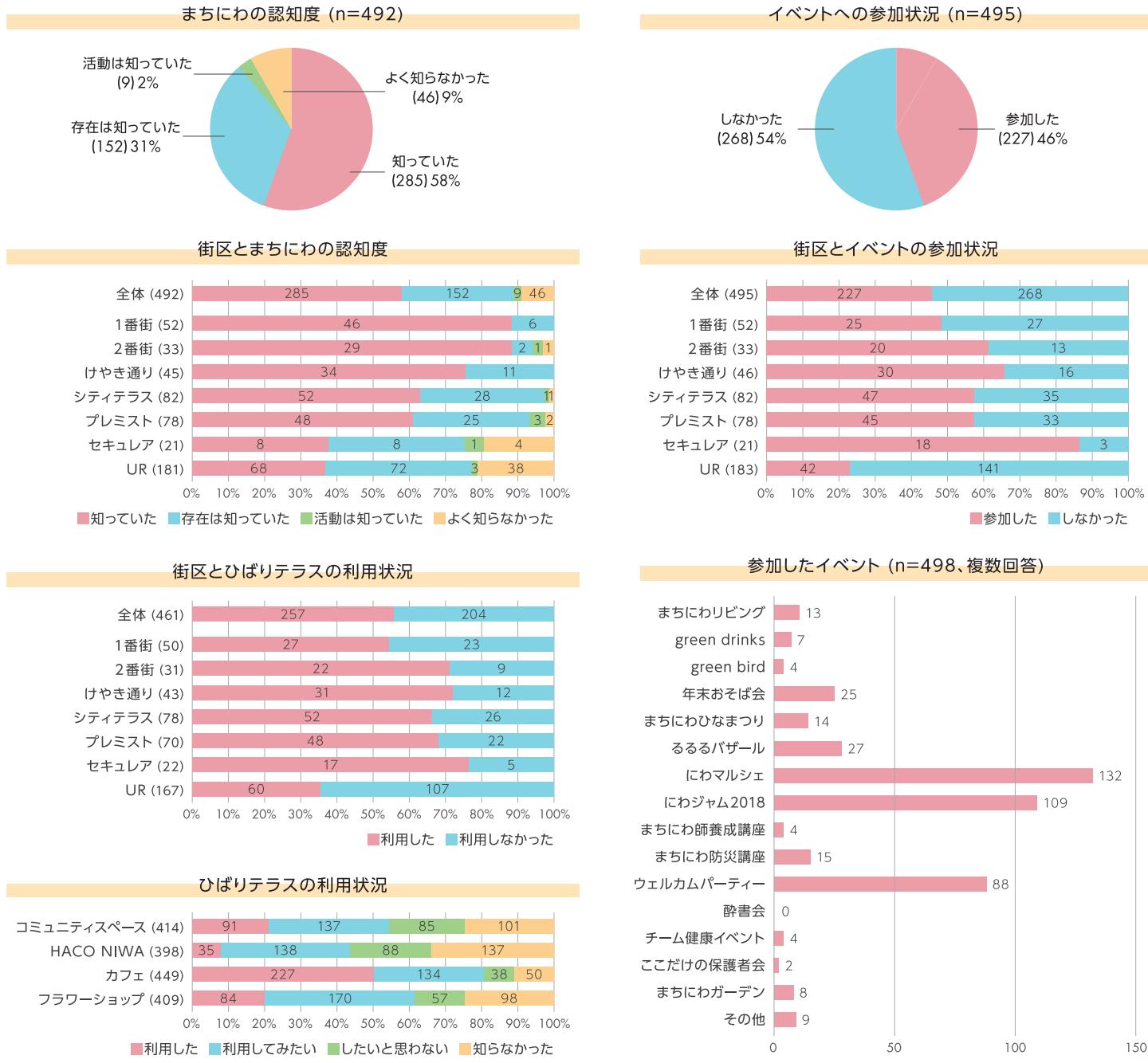
アンケート報告

まちにわ ひばりが丘では2018年度もアンケート調査を実施しました。この調査は、「まちにわ」の活動が地域の居住者にどう受け止められ、どのような効果を生んでいるのか、また、今後の活動のなかでどのような課題が存在し得るかを明らかにすることを目的としています。ご協力いただきました「ひばりが丘フィールズ1番街」「ひばりが丘フィールズ2番街」「ひばりが丘フィールズけやき通り」「シティテラスひばりが丘」「プレミストひばりが丘」「セキュレアガーデンひばりが丘」「UR賃貸住宅ひばりが丘パークヒルズ」の居住者の皆さま、あらためて感謝申し上げます。

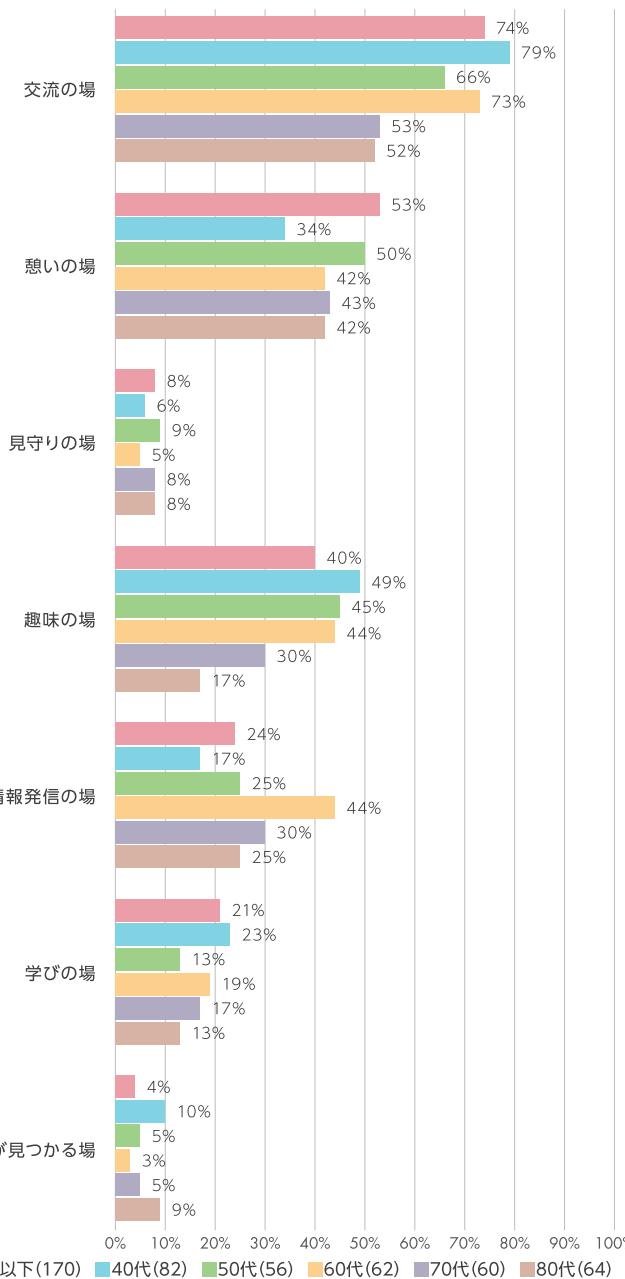
ここでは、アンケート調査結果の一部を紹介します。
(なおアンケート結果はひばりテラス118にて閲覧することができます。)

調査の概要

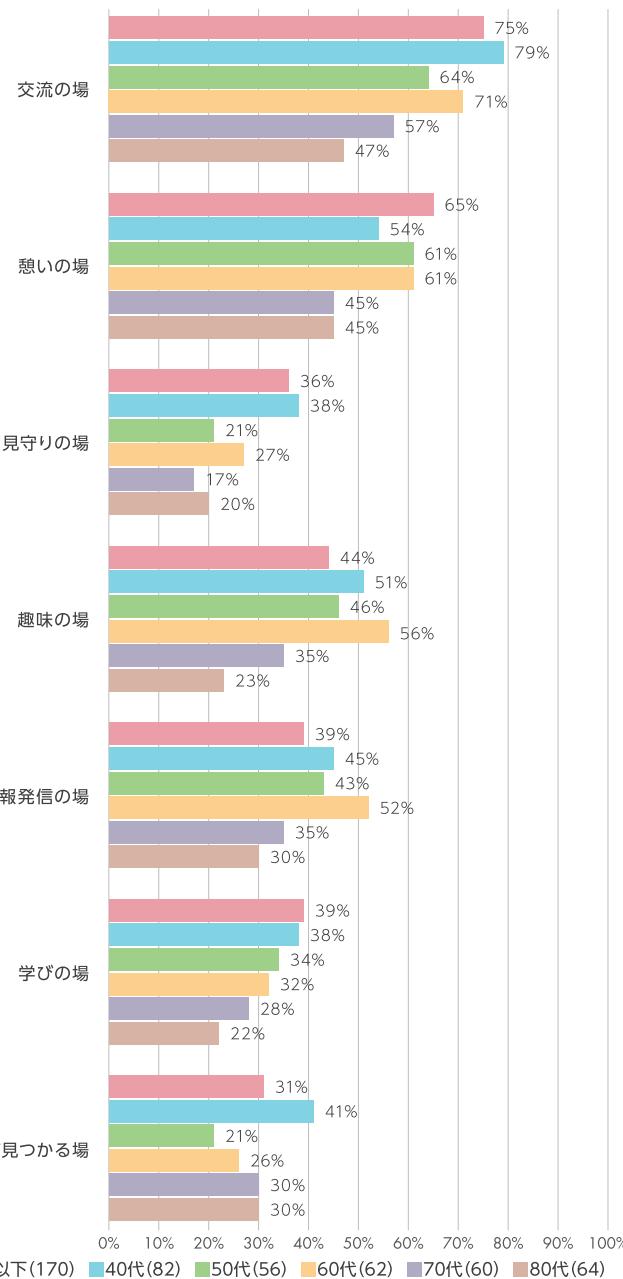
対象	ひばりが丘フィールズ1番街	(分譲:144戸)
	ひばりが丘フィールズ2番街	(分譲:156戸)
	ひばりが丘フィールズけやき通り	(分譲:119戸)
	シティテラスひばりが丘	(分譲:343戸)
	プレミストひばりが丘	(分譲:206戸)
	セキュレアガーデンひばりが丘	(分譲:78戸)
	ひばりが丘パークヒルズ	(UR賃貸:1528戸)
方法	分譲:各戸に投函、管理組合ポストにて回収 UR:各戸に投函、郵送にて返送	
期間	配布:2018年11月 回収:2018年12月	
回収率	1番街:36% 2番街:21% けやき:39% シティテラス:24% プレミスト:45% セキュレア:49% UR:13% 全体:21%	(配布数144、回収数52) (配布数155、回収数33) (配布数119、回収数46) (配布数342、回収数82) (配布数177、回収数79) (配布数45、回収数22) (配布数1373、回収数184) (配布数2355、回収数498)



年齢とひばりテラスの現状認識



年齢とひばりテラスへの期待



「ひばりテラス118」の利用についての意見・感想やアイデア

地域内のつながりができる所として楽しみにしている。(40代男性)

引っ越ししてきたばかり、出産したばかりで交流の場があってうれしい。(20代女性)

学生が自由に勉強できるスペースがあつたらいいなと思います。(30代女性)

レンタルスペースについてはもう少し気軽に利用できるといい。(30代女性)

まちにわのイベントについての意見・感想やアイデア

音楽、料理、オシャレなイベント希望。(80代男性)

蚤の市を開催したらうれしい。月1回程度で。(50代男性)

イベントが開催されていたことを知らなかつた。告知が届かない気も。アピールが弱いかな。(60代女性)

他の地域のコミュニティとの交流の場があつてもいいのではないかと思う。(40代男性)

まちにわやひばりテラスでの交流をきっかけに生まれた地域のつながりについて意見・感想、アイデア

ウェルカムパーティーに参加させていただいてご挨拶できる近所の方が増え、安心して過ごせます。(40代女性)

ウェルカムパーティーだけでなく、近隣のマンション交流会があるといい。(30代女性)

まちにわリビングでつながりが深まればと思う。にわジャムでは顔見知りが増え散歩してご近所の方と会えるのが楽しみになりました。(30代女性)

幼稚園や小学校など子供たちを通じた母親のつながりが生まれていると思います(40代男性)

事務局日記

まちにわ ひばりが丘の事務局は、施設の管理・受付のほか、近隣の方々との連絡調整など、様々な業務を行っています。そんな事務局のある1日の流れをご紹介します。

施設運営ボランティアを
募集しています。
お気軽にお声がけください。

事務局の ある1日

AM9:00

朝の施設準備

鍵を開けてから、施設全体のお掃除。気持ちよく利用していただくために、毎日トイレから全6室のコミュニティスペースをくまなくきれいにします。お手伝いの方がいる時は、一緒に行います。



イベントなどの企画

お馴染みになった「にわジャム」「にわマルシェ」だけでなく、「コミュニケーションの輪が広がる」新しいイベントなどをスタッフ、まちにわ師、住民の方々とともに企画します。

PM3:00

HACO NIWAの運営

お客様と出店者さまをつなぐお手伝い。お店さまに代わって、お会計だけではなく、商品の説明や、にわマルシェなどのご案内をしています。販売の管理、納品の対応なども行います。

来館者とのおしゃべり

ふらっと寄ってくれた人に、施設の説明や、日々の出来事などの情報交換、お悩み相談など。ちょっとしたおしゃべりの中から、まちにわど、ひばりが丘の活動のヒントをいただきます。

AM10:00

スタッフミーティング

月に2回、スタッフ全員が集まってのミーティング。日々の業務で気付いた事や課題、新規事業の企画などを、積極的に話し合います。



管理組合理事会との連携

マンション・戸建ての管理組合と、事業・催事における協働・連携のための連絡や業務調整を書面やメールで行います。また、理事会にも都度出席し、まちにわひばりが丘からの報告や相談をさせていただいている。

PM2:00

施設周辺の管理

春から夏にかけては、草が元気に育ちます。施設周りの芝刈りや植え込みの管理、雑草対策などを行います。時には隣接する公園のお掃除も。



PM4:00

子どもたちとのふれあい

夕方は多くの子どもたちが習い事に訪れます。受付で、やり残しの宿題を急いでやる子も。

PM8:00

スペース利用者受付

コミュニティスペースの利用者をお出迎え。受付にてチェックイン、利用料の対応をします。



施設利用者との連絡調整

コミュニティスペースを定期的に利用される方との連絡調整。いつ、どのスペースを使うのか、また利用者からの相談に対する回答をメールや電話でやり取りします。

閉館

戸締まりをして、施設を閉館させて、1日の業務を終えます。

PM9:00

Partner's Voice

パートナー企業・団体

ひばりが丘団地自治会

ひばりが丘団地自治会 会長 篠原重信さん



2018年度はまちにわ ひばりが丘と具体的な連携が始まりました。若い世代の方々と豊富なアイデアと意見をいただき、以前に比べて行事の企画内容から参加者に至るまで様々な裾野が広がったと感じています。団地の建替え、高齢化、転出の増加などで行うことができていなかった餅つきも、若い世代の方々とまちにわ ひばりが丘が企画・運営をすることで、自治会も協力し、復活することができました。分譲、賃貸に拘らず、お互いの違いを認めて、今後も助け合って安心できる良い地域コミュニティを作っていくたいです。

子どもアミーゴ西東京

ひばりが丘児童センター 佐藤文俊さん



ひばりが丘児童センターは、NPO法人子どもアミーゴ西東京が、市から運営を受託している、乳幼児から高校生年代までの子ども達のための施設です。開館当初より、ひばりが丘エリアの皆さまとの地域連携を進めて参りました。4月の桜まつりにあそびブースとダンスの発表、7月の夏祭りに、中高生遊びブースを出店しました。今後も地元に開かれた施設を目指し、まちにわ ひばりが丘と連携していくべきだと思います。

日生ケアヴィレッジ

日生ケアヴィレッジ 濑田貴子さん



日生ケアヴィレッジひばりが丘は、介護保険事業所、クリニック、調剤薬局等を敷地内に整備した福祉拠点です。まちにわひばりが丘とは、にわジャムでの飲食ブースの出店や、ハロウィンスタンプラリーのスタンプスポットの提供などで連携・協力してまいりました。様々な行事を行うことによって利用者さんの行動範囲が広がったり、笑顔が見れたり、「また来年も行きたい」と言った声が聞かれることは、施設運営者として嬉しいです。今後も、この地域でともに連携し、協力することでひばりが丘をこれからも盛り上げていきましょう!!

損益計算書(全体)		
(平成30年4月1日 至平成31年3月31日) (単位:円)		
科目	金額	
(経常損益の部)		
経常収益		
事業収益		
正会員収入	3,003,000	
賛助会員収入	680,000	
家賃収入	4,294,087	
施設利用収入	2,545,600	
広告収入	16,200	
イベント収入	2,323,616	
その他事業収入	4,552,305	
財務収益		
受取利息	875	
雑収入	2,148,602	19,564,285
経常費用		
管理費用		
給与手当	3,698,014	
法定福利費	20,619	
外注費	11,016,000	
広告宣伝費	1,397,006	
イベント運営費	2,858,567	
交際費	70,260	
会議費	67,342	
旅費交通費	17,016	
通信費	162,551	
事務用品費	792,175	
水道光熱費	1,588,971	
諸会費	18,600	
支払手数料	5,498,314	
地代家賃	1,477,440	
リース料	185,328	
保険料	152,790	
租税公課	228,715	
減価償却費	9,654,728	
雑費	145,228	39,049,664
経常損失		19,485,379
税引き前当期純損失		19,485,379
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000
当期純損失		19,555,379

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	90,448,703	流動負債	8,930,571
現金及び預金	85,935,728	未払金	6,891,771
前払費用	43,200	未払法人税等	70,000
未収収益及び未収入金	1,368,275	前受金	338,000
未収会費	3,003,000	前受収益	1,630,800
その他	98,500		
		固定負債	1,777,600
固定資産	53,502,637	長期預り保証金	1,000,000
有形固定資産	52,763,917	長期預り敷金	777,600
建物	65,149,158		
構築物	18,602,682		
工具器具備品	3,198,000	負債合計	10,708,171
その他	118,364	(純資産の部)	
減価償却累計額	△34,304,287	利益剰余金	133,243,169
投資その他の資産	738,720	その他利益剰余金	133,243,169
敷金	738,720		
		純資産合計	133,243,169
資産合計	143,951,340	負債・純資産合計	143,951,340

New Staff

新たな事務局スタッフを紹介します

子どもは笑う、大人も笑う、
そんな街を目指したいです。



岩穴口 康次

はじめまして。現在はおもちゃや遊びを通じて多世代交流を目指すNPOのディレクターとして活動しています。また、同じ「まちにわ師」の妻は、ひばりが丘団地で生まれ育った、生粋のひばりっ子(?)。夫婦共々、ひばりが丘の街づくりに携わらせていただくことになりましたので、よろしくお願ひいたします。



若尾 健太郎

まちづくりの専門性を活かして、
ひばりが丘に貢献したいです!

2018年度から事務局の一員として加わりました。ひばりが丘団地は小さい頃から馴染みのある地域です。NPOでの勤務を経て現在、西東京市でのまちづくりプロジェクトや地方におけるNPO支援を行っています。まちにわ ひばりが丘では、専門性を活かして多世代が交流し、助けあえるコミュニティづくりに貢献していきたいです。

よろしくお願ひいたします。

Q.1 「まちにわ ひばりが丘」の
正会員と個人会員の違いはなんですか?

「正会員」は、各マンション・戸建の管理組合及びマンション開発事業者が担っており、「まちにわ ひばりが丘」の総会における議決権をそれぞれ1票有しています。「個人会員」は、その「正会員」各マンション・戸建の管理組合に属し、月額会費をお支払いいただいている各世帯となります(なお、個人会員は、「まちにわ ひばりが丘」の総会における議決権は有しません)。また、活動を応援していただける個人・法人の方向けに「贊助会員(議決権なし)」制度があります。

Q.2 「ひばりテラス118」は、「まちにわ ひばりが丘」の
正会員・個人会員および贊助会員しか使えないですか?

「ひばりテラス118」は、利用登録をすればどなたでも利用することができるエリアマネジメントセンターです。なお、「まちにわ ひばりが丘」正会員・個人会員および贊助会員の皆さんには、施設利用の特典があります。

Q.3 「まちにわ ひばりが丘」の理事会や総会の
議事録を閲覧することはできますか?

「まちにわ ひばりが丘」会員のみなさんは、「ひばりテラス118」にて各議事録を閲覧することができます。

Q.4 各住戸からの会費(正会員収入)は、どのように使われているのですか?

「まちにわ ひばりが丘」が行う賑わいやつながりを創出するための各種イベントの費用、新規収益事業づくり、また、「ひばりテラス118」の施設運営に関わる費用などに活用させていただいているいます。

Q.5 外注費の内訳を教えてください。

主な外注費は、事務局運営に係る業務委託費、法務顧問および経理会計・労務処理業務に関する業務委託費となっています。

Q.6 固定資産額が多いのはなぜですか?

「ひばりテラス118」の建物は、URの資産ですが、施設全体の改修工事費用及び家具・什器、厨房器具などは、「まちにわ ひばりが丘」の資産となり固定資産として計上しているためです。

1年の出来事

Start!

2018

4

- * ひばりが丘団地自治会主催「桜まつり」に出店
- * AERU13号を発行

5

- * 地域防災イベント「るるるバザール」開催

6

- * 「にわマルシェ#1」開催
- * 簡易トイレ販売会
- * 第5期「まちにわ師養成講座」開講
- * green drinks hibarigaoka 「地域の仕事の生み出し方」開催

7

- * BAR,118「納涼寄席」開催
- * プレミストひばりが丘 ウェルカムパーティー開催
- * ひばりが丘団地自治会主催「夏まつり」に出店

8

- * 「にわマルシェ#2」開催
- * AERU14号を発行
- * ひばりテラス118 夏休みランチタイム開放 実施

9

- * シティテラスひばりが丘 ウェルカムパーティー開催
- * 横浜市都筑区のプロジェクト 「つづきつながりカレッジ」で講演
- * BAR,118「酔書会」開催

10

- * セキュアガーデンひばりが丘 植樹祭＆ウェルカムパーティー開催
- * 「にわマルシェ#3」開催
- * 「にわジャム2018」開催

11

- * 「第12回 全国タウンマネジメント会議」に 講師・パネリストとして参加

12

- * 「にわマルシェ#4」開催
- * 「まちにわ防災講座(備蓄編)」開催
- * コミュニティカフェ遊にて「年末おそば会」開催

2019

1

- * マンション・団地合同で「新春餅つき大会」開催
- * 防災啓発ドキュメンタリー映画 「いつか君の花明かりには」自主上映会 開催

2

- * 「にわマルシェ#5」開催

3

Go Next!!



発行元 一般社団法人まちにわ ひばりが丘

デザイン ease graphics

写真 [まちにわ] 浅見美沙、平田武、佐藤正美
[事務局] 中村泰己

問合せ info@machiniwa-hibari.org

WEB http://machiniwa-hibari.org/

発行日 2019年11月15日